

まちの話題

▶5月29日に栗東さぎらの広場で「びっくりちゃっかり140万人しが県民集会」があり、たくさんのプログラムが開催されました。その中の「市民参加型野外劇『米喰う花』」に参加した小学生3人に感想を寄せてもらいました▶劇はとてよかったです。本番は雨ふって残念でした。劇の練習は楽しかったです。少ししか行けなかったけど、練習ごとにとてよおもしろかったです。きがんちゃん家にとまって、次の日、練習に行った日は楽しかったです。びわ湖で泳いだり、お好み焼きをしました。劇は学校とかでやる劇とちがって動きで表しています。学校の劇はみんなにセリフがわたされて役をするだけだけど、びっくりちゃっかりの劇はセリフもあるけど、動きで表現しているところが多いです。子どもから大人までみんながひとつになって楽しかったです。かのこ12才▶私は「米喰う花」に出て、今、大人が何の事に反対しているのか、今、どんな事が日本で起きているのかを知る事ができました。楽しくやる場面、真剣にやる場面、色々あってすごく楽しかったです。とくに私は、最後に歌にあわせてみんなで、踊ったり、走り回ったりするのが、一番「サイコー」って感じました。私はそのとき、鳥を飛ばす役だったけど、踊ってる人、歌ってる人、走り回ってる人、いっぱいいて、スゴイおもしろって思いました。本番は雨が降り出して大変だったけど、雨の中でもみんな何にもないような感じで普通にしていたので、ビックリしました。今、こう思うと、すごく楽しかったな一と思えます。また、劇に出たいし、みんなで輪になり踊りまくりたいです!!はな10才▶私がこの劇に参加して思ったことは、いろいろな音楽が使われていてそれぞれの場面がとても想像しやすいなということです。最初のシーンで鳥が飛んでいる時のピアノのばんそうが、大きな鳥が空をゆうがに飛んでいるところをうまく表現しているところや、無関心の人たちのシーンでは足音がたいこを使ってとても上手に表現されていて、わかりやすくて、音楽だけでも想像を広げることができました。たくさん練習したのに、本番が雨で残念でした。かなで10才▶facebookページでは「びっくりちゃっかり〜」の開催までの軌跡、当日の様子を、たくさんの写真や動画でご覧いただけます。どうぞアクセスしてみてくださいね!

<https://www.facebook.com/kenminshuukaishiga/>



あまいろだより



戦争? 選挙? 『戦争に負けないための20章』を読む

天色便り
あまいろ探偵団、走る! 手づくり市民メディア
第27号 2016.6.15

声をなく市民ラジオ
ことばにする
耳をかたむける

AMAIRO CHANNEL
あまいろチャンネル

<http://www.aoiwako.org/amairo-channel/>

あまいろだより(天色便り)第27号
あまいろ探偵団、走る!手づくり市民メディア
特集/『戦争に負けないための20章』を読む
発行日/2016年6月15日
編集/あまいろ探偵団
(綾牧生・岸田知之・北岡七夏・きむきがん・中野和子・藤井朋子)
表紙タイトル/岸田知之
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖
~大切なことを他人まかせにしない。自分たちで力をあわせてつくる~
〒521-1311滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
TEL0748-46-4551 FAX0748-46-4550
Eメール info@aoiwako.org
ブログ <http://aoiwako.shiga-saku.net/>

びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを
使用しています(びわ湖の森の関連材活用)

暮らしのコラム

「生活の中から考えよう!
~憲法と選挙について~」
畑佐小晴

我が家の玄関には日本国憲法の版画が立派に飾られている。トイレの壁にもそれが貼られているし、他にもTシャツや手ぬぐいなど、物心がついた時から家のあらゆる場所に憲法グッズがあった。当時小学生だった私はまだ憲法を知らなかったから、自分が何故こんな家に住んでいるのだろうといつも疑問に思っていた。そんなある日、母から「日本は憲法があるから戦争をしないんだよ」と教えてもらった。これが憲法との出会いだった。憲法は学校の社会の授業でも教わったけれど、こんな家族に囲まれながら暮らしていたものだから、憲法については他の友達よりもよく知っている方だと思こんでいた。

しかし、この憲法が暮らしと身近なものだと理解したのは、それよりも後のことだった。2011年の震災以降、政治がどんどん変わり、そこで憲法改正の声が出てきたことを知った。憲法が変わってしまったら、私たちの生きる権利が全て奪われてしまうのかなと、怖く思い始めた。私たちの暮らしに関わる憲法を変えるなんて絶対に許してはならないと、私は黙ってはいられなくなり声をあげ始めた。立憲主義ってすごく難しい。でも、市民から政治家に向けて出しているものなんだと思う。政治家は、憲法のもとで市民のための政治をしなければならぬし、市民にも自由に声を上げる権利がある。でも、それを理解している市民や政治家はどれほどいるのだろう。

今の社会は、意見を言っただけで「文句ばかり言わずに空気読めよ」と言われるけれど、そんな空気ってなんかちょっとおかしい気がする。その空気を変えたい。周りの市民にも、政治家にも一人一人が憲法につ

いて考えて欲しい。だから私は「立憲主義を守れ」と声をあげている。これが私の立憲主義だ。

ここまで偉そうに語ったけれど、実はちょっと恥ずかしい。普段の私は、毎日必死をこいて勉強をするタイプでもないし、絵ばかり描いている。音楽をしたり、ダンスをしたりすることの方がずっと楽しくて大好きだ。だから、ここまで語るのに結構時間がかかった。インターネットで「立憲主義とは」と検索して調べたり、高校の時に使っていた教科書を引っ張りだしたりして、色んなことを考えた。正直かなり面倒くさかったけれど、ちょっと楽しい。賢い学者さんみたいに上手に物事を考えることができなくても、こうやって自分の頭で考えて、行動することは本当に大切だと思う。これを日常的にできる社会になったらいいのにな。

参院選挙では、18歳選挙権が施行される。そのせいで不安を感じている人は私の周りにたくさんいる。でも、18歳でも、大人でも、子どもでも、政治のことを考えることはできると思う。忙しい学校生活でも、アルバイトでも、その中に政治は溢れているはずだ。政治について考えることは、朝顔を洗ったり、ご飯を食べたり、歯を磨いたりすることと同じくらい大切なことだ。だから「選挙にいこうよ」と気軽に呼びかける。私はこの社会の中で苦しみたくないし、仲間が苦しむ姿も見たくない。

自分の生活の中から考えていこう。

畑佐小晴... 食べることが大好きな18歳。今年の春から美大生になりました! 趣味はお笑い番組を見ることです。

こんな本、いかがですか?

『この経済政策が民主主義を救う』
(松尾匡著 大月書店)

今年7月の選挙では何が重要な選挙の争点だと考えていますか。今年5月2日付の朝日新聞世論調査によれば、参議院選で一番重視する政策は、「景気や雇用」の30%、社会保障・福祉の22%、教育・子育ての9%となっており、経済問題が圧倒的に高い関心であることがわかります。個人的には残念なことです。人類の存立基盤にかかわる原子力発電・エネルギーは4%に留まっています。しかし、今回の選挙で多数の人たちと手を携え、様々な社会問題を解決していくためには、本書で取り上げている経済問題に関する議論は大変重要です。

本書では、まず、現在の日本において住民全員が本当に豊かなのかと問いかけます。そして、現在、多くの人々が戦後直後のエネルギー摂取量不足に匹敵する食生活を送っていること、「保活」が示すような保育所等の不足、老年期を迎えた後に待つ介護サービスの不足などをデータによって明らかにしています。同時に、日本では1990年代から長期不況が続き、多くの人々が失業し、生活に苦しんできたのが現状でした。

それでは、どうして長い間多くの人々が失業状態から解放されず、かつ介護施設等の建設が進まなかったのでしょうか。それは、民主党政権までの景気回復策に弱点があったからです。実際に、民主党政権後発足した安倍政権下では、失業率が激減(2012年12月の発足時4.3%→2016年3月時で3.2%)し、15歳から64歳までで正規

雇用が増えました。これについては、安倍政権の「アベノミクス」が雇用面に関して有効だったというのが一般的な評価です。

ところで、筆者は、「アベノミクス」の一部である日本銀行によって積極的な資金供給を行う金融緩和策を、安倍政権成立前から提案していました。この政策実施後には、企業が資金を借りやすくなり、設備投資が進み、雇用が増大することになります。現段階では、輸出企業が中心の好況という側面がありますが、筆者によれば、社会的ニーズを充たす方向へと転換することが可能です。日本銀行が政府の発行する国債を買い取ることで生み出される財源で社会的な医療・介護・保育などを整備することで、本当に豊かな暮らしを即時に実現できるのです。さらに、この方向を発展させ、わたしたち立命館大学教職員の有志は、保育サービスから大学などの高等教育までの無償化をすすめ、教育機会の均等化を保障する政策を提案しています(5月5日)。この方向転換を行うか否かが、今度の選挙の大きな争点です。福祉の充実を目指す筆者と安倍政権との大きな違いなのです。まとめると、アベノミクスの金融緩和策は正解、第二の矢の財政政策の方向性は誤りということになります(第三の矢もそうです)。このように、「ミックス」されて、分かりにくいアベノミクスを非常に分かりやすく整理したことが本書の大きな特徴です。

橋本貴彦(立命館大学経済学部・准教授)

期日前投票が6月23日から可能です。市町役所/支所のほか、イオン長浜店、エイスクエア・ディオワール3号館(草津)、ショッピングブ



ラザアピア(東近江)、ピバンティ彦根、県立大(彦根)、立命館大(草津)、湖北病院(長浜)に開設。忘れずに投票行こう。

